

埼玉コンテナラウンドユース推進の取組



平成27年3月12日 コンテナラウンドユースフォーラム
 埼玉県 都市整備部 都市計画課

埼玉コンテナラウンドユース推進の取組

日本一の交通の要衝 企業立地が進む埼玉

東日本の大動脈「東北」・「関越」・
 「常磐」自動車道が南北に縦断

既存の高速道路と連結する「外環道」・
 「圏央道」が東西に横断



過去10年間の企業転入超過数
全国1位 1324社 (H14~H23の10年間)

物流・保管施設候補地
全国1位 (H26)

工場候補地
1位海外 2位愛知県 3位埼玉県

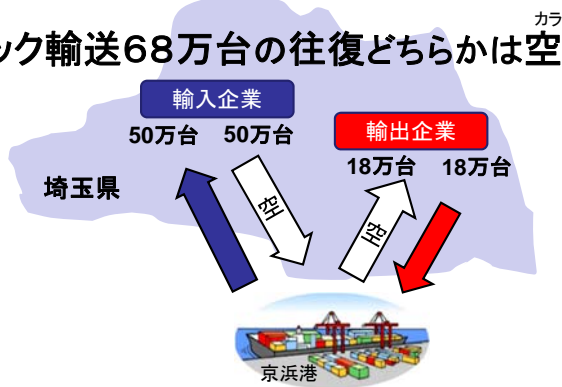
出展 株式会社データバンク資料

国際海上コンテナ物流の現状

現状

①非効率な物流

トラック輸送68万台の往復どちらかは空の状態



②物流量は年々増加

京浜港のコンテナ物流量
埼玉県分は5年で7割増
40万台(2008年)→68万台(2013年)

伸び率
関東第1位

港のコンテナの受渡しは慢性的な大渋滞
【東京港 平均2.5時間】

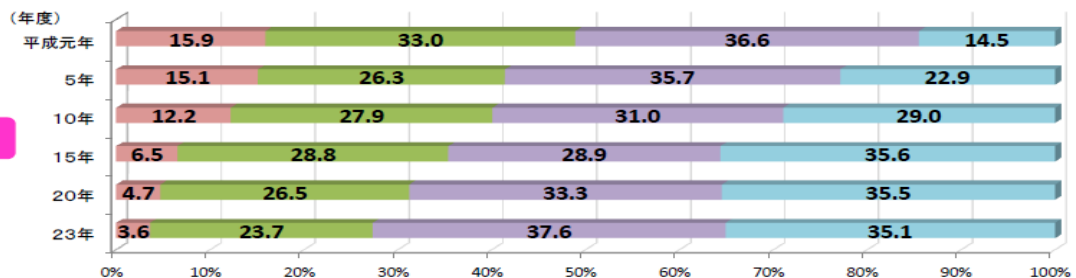
課題

トラックドライバーの年齢構成比の推移

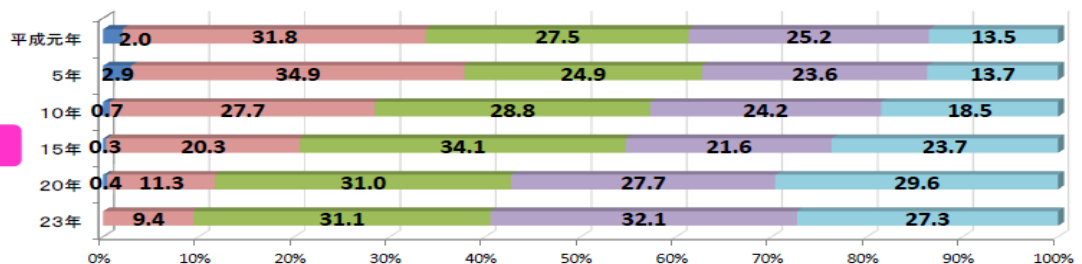
国土交通省

トラックドライバーの高齢化が進み、特に30歳未満の割合が減少しており、若者のトラックドライバー離れが進んでいると言える。

大型



普通



埼玉コンテナラウンドユースの期待される効果

コンテナラウンドユースで効率的な物流

コンテナを港に返却することなく継続して利用

期待される効果

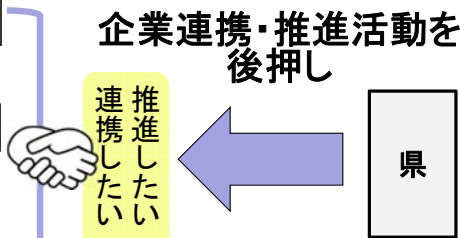
- ①企業の物流効率が向上(荷主・ドレージ)
- ②港での待機時間短縮による労働環境改善(ドレージ)
- ③トラック輸送距離減による環境への配慮(荷主・ドレージ)
- ④港でのコンテナストック過多解消の一助(船会社)
- ⑤企業の生産性が高まり
埼玉県へ 企業立地、既存企業の定着率向上(県)

埼玉コンテナラウンドユース推進の仕組

埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会 H26.10.21設立

多社異業種による構成

- 輸出・輸入企業(荷主)
- 陸運事業者
- 船会社
- 保険会社
- 金融機関
- その他(コンテナ検査機関等)



取組

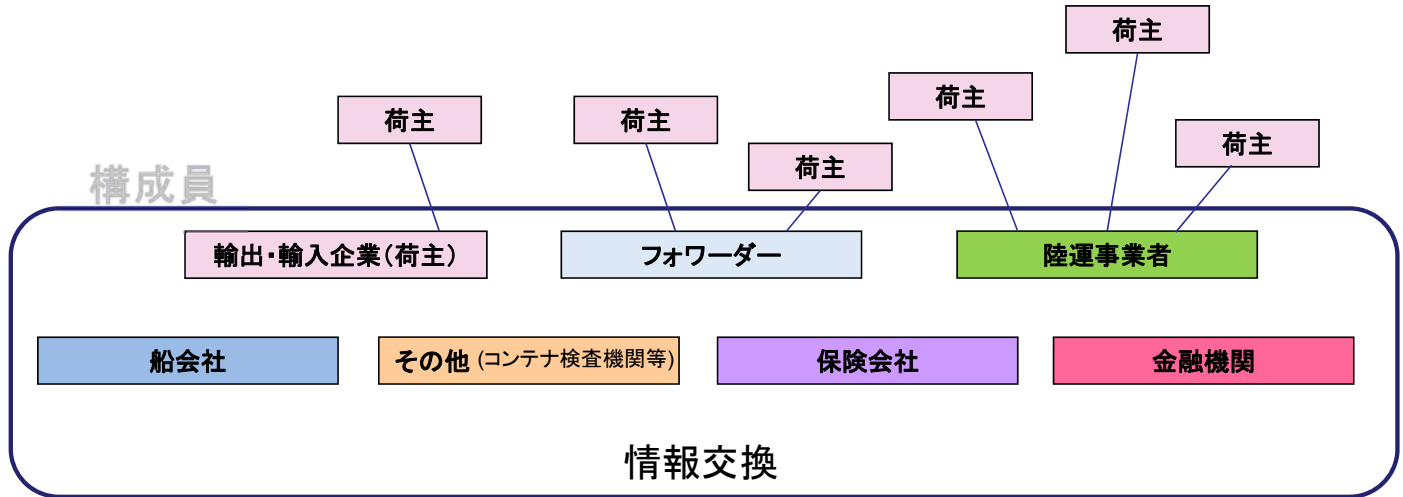
- (1)企業間の情報交流の場を提供
H26.10~
- (2)コンテナラウンドユース社会実験
H26.11~H27.1
- (3)コンテナラウンドユースに係る保険制度
H26.10~
- (4)コンテナマッチング支援システム
H27.1.20~ 試行

構成員36団体(平成27年2月末現在)
県、物流関係事業者(荷主、陸運事業者、船会社)
のみならず保険会社、地元金融機関等が参加

埼玉コンテナラウンドユース推進の仕組

埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会

多社異業種による構成により、新たな連携、新たな取り組みが生まれる



企業間の情報交流

埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会 開催状況

- 第1回開催 H26. 10/21 14:00~16:00
埼玉県県民健康センター大会議室B(さいたま市浦和区高砂3-5-1)
・埼玉県からのお知らせ
埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会設立趣意書・要綱
平成26年度コンテナラウンドユース社会実験【H26.11.1~H27.1.31】
・埼玉県警からのお知らせ(県警察本部 刑事部組織犯罪対策局捜査第四課)
・構成員の取り組み
GLOVAL CONTAINER MATCHING SYSTEM(日本通運株式会社)
コンテナラウンドユースに関わる保険について
(損害保険ジャパン日本興亜株式会社)
(東京海上日動火災保険株式会社)



- 第2回 H27. 3/20(金)14:00~16:00
埼玉県県民健康センター大会議室C(さいたま市浦和区高砂3-5-1)
・社会実験平成26年度の結果及び平成27年度の実施について(埼玉県)
・コンテナラウンドユースの調整方法(構成員)
・コンテナチェックの方法(構成員)

参加者受付中

会議終了後 名刺交換

期間 H26.11.1 ~ H27.1.31

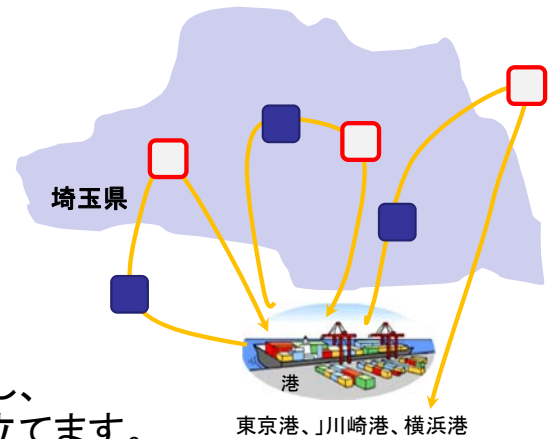
報告者	埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会構成員
報告内容	輸入コンテナの目的地または輸出コンテナの出発地が埼玉県内であるコンテナラウンドユースの実績
報告書類	① コンテナラウンドユース実績表様式 荷卸、荷積場所、取扱品目概要等 を記載 ② コンテナが実入りで港から入ったこと及び実入りで港から出たことが分かる書類として機器受渡証(EIR)のコピーまたはその他同等の書類。
データ取得費 県⇒報告者へ 支払	① 輸入コンテナに関するラウンドユースの報告 3千円/20または40フィート・片道 ② 輸出コンテナに関するラウンドユースの報告 3千円/20または40フィート・片道

いずれかが県内で報告いただけます

荷降し

荷積み

コンテナの動き



県は輸出入コンテナラウンドユースの実績を把握し、
今後の県物流効率化施策に役立てます。

報告件数 123件 (中間報告12/31現在)

効果

■コンテナ移動距離 25%減

平均60km減/ラウンドユース1回

コンテナラウンドユース実施前 30,650km → 実施後 23,106km

■輸送時間 40%減

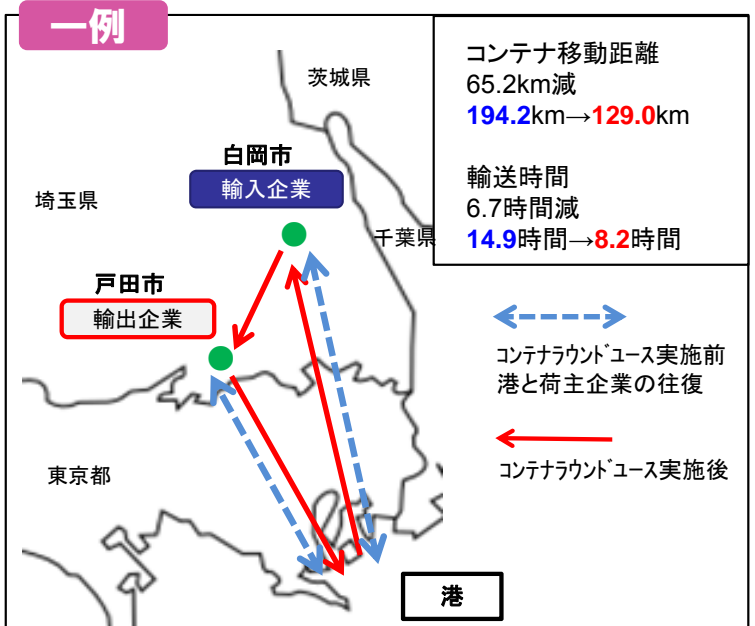
平均6.5時間減/ラウンドユース1回

コンテナラウンドユース実施前 1,996 時間 → 実施後 1,192 時間

■CO2 8.35トン削減(総計)

↑ ヒノキ980本/年 CO2吸収相当

一例





コンテナラウンドユースが「できる理由」、「できない理由」を検討し
今後の支援策へつなげます

検討要素

これら要素による成立の違いは？

仲介者(荷主、陸運事業者、フォワーダー)

荷の種類(組みやすい荷の種類)

デバン・バンニングの場所・タイミング(概ね〇日以内)

デポの有無(オンシャーシ)



- (例) ソフト支援: 仲介者に対する実施講習、事業者間の情報共有、
民間物流拠点の活用 等
ハード支援: 公的物流拠点の必要性検討 等



36団体 H27.2末現在	荷主 (6)	株式会社ニトリ 貿易改革室 担当	国際紙パルプ商事株式会社 グローバルビジネス統括本部 グローバルビジネス製紙原料営業本部 東日本営業部 貿易課 主事
		曙プレーキ工業株式会社 ロジスティックス改革推進室長	レンゴー株式会社 八潮工場 物流部長
		本田技研工業株式会社 生産統括部SCM統括部海外部品物流部 埼玉海外物流ブロックリーダー	水野産業株式会社 商品部職員
	陸運事業者 (13)	関東紙運輸株式会社 営業部 営業部 部長	日本コンテナ輸送株式会社 営業部 部長
		株式会社 日新 国際営業第1部 次長	一般社団法人埼玉県トラック協会 海上コンテナ部 部会長
		日本通運株式会社 海運事業部 専任部長	日本高速輸送株式会社 京浜支店 取締役京浜支店 支店長
		西濃シエンカー株式会社 海外輸送部 部長	八潮運輸株式会社 経営企画部 部長
		タツミトランスポート有限公司 代表取締役	吉田運送有限公司 代表取締役
		伊藤忠ロジスティクス株式会社 食品・プロジェクト部 課長	株式会社住友倉庫 営業第一部 部長
		株式会社 エムティ輸送 代表取締役	
	船会社 (4)	オリエントオーバーシーズコンテナライン 日本代表	株式会社ケイラインジャパン マーケティンググループ長
		NYK Container Line株式会社 営業部長	Pan Ocean コンテナ日本 株式会社 営業部 代理店総括理事常務
	その他物流関係事業者 (9)	郵船ロジスティクス株式会社 海上事業部 商品開発課 課長	株式会社ユニエックス 営業推進グループ グループ長
一般社団法人 日本海事検定協会 業務執行理事常務		i CONNECT GLOBE株式会社 代表取締役	
トライウォールジャパン株式会社 東日本事業部 担当セールスエンジニア		トレーディア株式会社 京浜支店営業第1部 部長	
株式会社日成 営業部副部長		濃飛倉庫運輸株式会社 経営企画部 営業企画課 課長代理	
川崎陸送株式会社 通関東京営業所 所長			
保険会社 (2)	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 物流開発部長	東京海上日動火災保険株式会社 神奈川支店 川崎支社長代理	
金融機関 (2)	株式会社武蔵野銀行 県庁前支店 支店長	株式会社埼玉りそな銀行 県庁支店 支店長	

一緒に取り組みませんか？

埼玉県コンテナラウンドユース

検索

埼玉県HPからダウンロードできます

- ・埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会 申込書
＜メールにてお申込みいただけます＞
- ・各種取扱い、要綱
- ・平成27年度社会実験 報告様式(掲載日3/20)
＜メールにて報告いただけます＞

問合・提出先 埼玉県 都市整備部 都市計画課 総務・企画担当
電話 048-830-5337(直通)
FAX 048-830-4881
email a5330-07@pref.saitama.lg.jp